

第10回日本学校教育相談学会中国・四国ブロック研修会 実施要項

- 1 目的
日本学校教育相談学会中国・四国ブロックの会員の資質向上
- 2 主管
日本学校教育相談学会岡山県支部
- 3 後援 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会
倉敷市教育委員会
- 4 参加対象
日本学校教育相談学会中国・四国ブロック会員
学校教育相談に興味がある教職員で、秘密の保持のできる方 等
- 5 参加人数
80名程度

- 6 日時
2019年11月9日(土) 10:00~16:00

- 7 場所
「ピュアリティーまきび」(岡山駅から徒歩7分)
岡山市下石井2丁目6-41 TEL 086-232-0511

- 8 日程
9:30~10:00 受付
10:00~10:15 開会行事
10:15~12:30 分科会(135分)
12:30~13:50 昼食・休憩
13:50~15:50 講演会

講演テーマ「現代の思春期を考えるーネット社会が彼らに与える影響からー」

講師 島根大学人間科学部人間科学科心理学コース 岩宮 恵子 教授

15:50~16:00 閉会行事

- 9 分科会(10:15~12:30)

○第1分科会(岡山県)

テーマ:「ポジティブな行動支援によるいじめの未然防止」

<内容>

倉敷市教育委員会では、人権教育課題研究として、毎年、学校教育に関わりの深い人権課題について、授業をもとにした実践的研究を進めています。今回の発表では、昨年度から取り組んでいる「ポジティブな行動支援によるいじめの未然防止」の実践についてご紹介します。本研究は、理論的な土台を行動の科学である「応用行動分析」とするポジティブ行動支援(PBS/PBIS)と解決志向アプローチ(SFA)を活用した実践です。具体的で、可視的で、実践的で、誰もができて副作用がない安心・安全な方法により、児童生徒の適切な行動を増やし、いじめという問題行動を未然に防止しようと考え、市内小中学校で実践し効果をあげているものです。

<発表者紹介>

○原田佳徳 倉敷市教育委員会人権教育推進室 指導主幹

約20年間の小学校教員としての勤務から、倉敷市教育委員会人権教育推進室の指導主事となる。主に学校教育を担当し、学校園の人権教育の推進に努めている。昨年度から、小中学校で取り組まれた本実践の成果を市内外で発表し、ポジティブな行動支援のよさを広めている。

○三宅 未来 倉敷市立万寿小学校 教諭

平成30年度人権教育課題研究委員として、「ポジティブな行動支援によるいじめの未然防止」を第1学年で実施し、「人権教育実践資料4」の作成に貢献した。

○光畑 俊輝 倉敷市立第二福田小学校 教諭

平成30年度人権教育課題研究委員として、「ポジティブな行動支援によるいじめの未然防止」を第5学年で実施し、「人権教育実践資料4」の作成に貢献した。

○第2分科会(愛媛県)

テーマ：「心理学のエッセンスを取り入れた児童への支援の在り方
—個別と集団へのアプローチを通して—」

<内容>

子どもの心身の健康課題の多様化に伴い、健康相談において養護教諭が専門性を生かして、学校内で中心的役割を果たし、個々に応じた支援を組織的に推進することが期待されています。そこで、養護教諭として保健室に頻回来室する子どもの多面的な実態把握を行い、独自で考案した健康相談記録シートに情報を集約し、それを基にケース会議で支援目標を設定するとともに、心理学のエッセンスを取り入れた個別支援プログラムを作成することとしました。プログラムは個別・ペア・小集団の三つの形態を取り入れた13セッションで構成しています。今回はこのプログラムの実践とその効果についてお話しします。

また、アンガーマネジメントを取り入れた学級集団への心の健康教育の授業実践とKH Coderを中心として検証した授業効果についても併せて紹介します。

<発表者紹介>

○亀松 千穂 東温市立北吉井小学校 養護教諭

平成29年度、愛媛県総合教育センター長期研修生として、一年間「保健室に頻回来室する児童への健康相談の在り方」の研究に取り組む。平成30年度より、現任校に赴任し、心理学のエッセンスを取り入れた児童への支援の研究を続けている。愛媛県教育研究協議会主催の第49回愛媛県教育研究論文において、研究主題「養護教諭の学校組織におけるコーディネーターとしての役割の在り方」で入選、第51回「心理学のエッセンスを取り入れた心の健康教育の授業実践の効果」で佳作となる。

○第3分科会(広島県)

テーマ：「子供の愛着と家族療法」

<内容>

家族理解に基づいて子どもと家族への対応を考える演習講座です。事例を用意し、ジェノグラムをベースにして、多様な対応策を考えていく実践的な講座です。この講座は参加者のみなさんの意見交流の時間を多くとります。この交流によって新たな気づきが生まれ、その気づきがうれしい。そして、あっという間に終わった、楽しかったという感想がうまれる講座を目指します。

<発表者紹介>

○谷田 寿幸 広島市立広島中等教育学校 教頭

(学校カウンセラー、ガイダンスカウンセラー、学校心理士)

広島大学大学院で心理学を学ぶ。広島市の中学校に教諭として採用され、その後、広島市教育委員会指導主事、広島市児童相談所相談課主査、広島市こども療育センター心療部主幹を経て現在に至る。講座、研修会等の講師として、広島大学大学院教育学研究科の教職試験特別講座「中・高校現場の諸問題」「子どもの心のケアと教師の心のケア」を担当。そのほか、広島県内外の行政機関、小、中、高、特別支援学校など、学校教育相談をベースに子どもや家族の抱える問題を解決するための活動を行っている。

○第4分科会

テーマ：「教育・医療・心理で行う「教師を支える会」の実践 ～より開かれた支部の教育相談活動(法務少年支援センター・現場との繋がり)へ～」

<内容>

教師受難と言われる昨今、教師の負担は増すばかり。そのような現場の状況を踏まえて、支部活動の中で何とかしようと定例研修会に加えて「教師を支える会」を発足。「学校全体がお手上げ状態」「学校現場だけでの支援は無理」等の個別事例のほか、学級経営・保護者対応等の幅広い事例が会へと繋がった。

会の運営は支部が行い、助言は児童精神科医・臨床心理士・学校スクールカウンセラー等の専門家がボランティアとして行っている。市教委の後援がえられ、会の助言者もケースの多様化により元教育行政経験者・少年鑑別所専門官へと広がってきた。相談者は管理職を伴うなどチームで来談。今回は、法務支援センターと連携した相談事例(問題行動を伴う)についても紹介する。

小さな使命感で発足した会がその実績より現場には「駆け込み」的な相談所として浸透し、専門家には趣旨に賛同して協力を得られた経緯を話したい。

<発表者紹介>

○松下成子 支部理事 鳥取県スクールカウンセラー

公立学校・児童心理施設で職員として不登校・不応答の子ども達への支援の手法として「認知行動法的アプローチ・マイプラン」を作成し成果を上げる。また「構成的グループエンカウンター・対話法」を使ったワークショップや講演会活動を行っている。児童心理施設内分校で被虐待児の自立支援プログラムについて行動療法学会で発表する。

※この研修会は、学校カウンセラー更新の時、全国規模の研修会として扱います。

※この研修会は、学校カウンセラー認定のためのポイントになります。

10 参加費

学会員 2,000 円 学生会員 1,000 円 非学会員 3,000 円

11 申し込み方法 (メールのみ)

下記の問い合わせ先宛に「申し込み用のExcelファイル」に記入の上、Eメールに「申し込み用Excelファイル」を添付してメールでお申し込みください。なお、ファイルが添付できないときはメールに必要事項を記入してお申し込みください。なお、申込者多数の場合は、先着順で受付させていただきます。申込者多数でお断りする場合は、事務局から連絡します。

12 申し込み締切

2019年11月3日(日)

13 問い合わせ先

日本学校教育相談学会中国・四国ブロック研修会 事務局 三上政誉志

申込み・連絡先メールアドレス jascg_okym@yahoo.co.jp